

【支部だより】

## 平成21年度 京都支部総会 開催報告

小東 靖史(61回生)

去る2月20日(土)春を思わず陽気の中、京都市中京区の料亭光悦にて、午後3時より京都支部総会が開催されました。今年も昨年同様、約90名の会員が集まり、池氏(65回)の司会で学術講演が始まりました。

今年は若い卒業生の希望により、PACSをテーマに5題の講演となりました。

まず、京都医療科学大学 石垣先生より『PACSの概要』の講演があり、その後、西陣病院 堀井先生(55回)・社会保険京都病院 北橋先生(58回)・済生会京都府病院 大澤先生(65回)の3施設のPACSの使用経験と島津製作所 田中氏より『X線モニタ診断の現状と課題』についての講演と続きました。これからPACSの導入を検討されている施設の皆さんにとっては、PACSの基礎や多施設の使用経験、問題点などを聞くことができ、非常に参考になったのではないかと思います。

引き続き、総会を世良氏(短1回)の司会で開始しました。京都支部長出石氏、学友会会長埜藤氏のご挨拶に続き、来賓として京都医療科学大学学長高橋先生、滋賀支部長岩崎氏、兵庫支部長岩元氏のご挨拶を賜り、廣瀬事務局長より大学の近況報告をいただきました。

続いて議事に入り、出石支部長より本年度の活動報告及び会計報告、来年度の活動予定の報告があり、全会一致で承認されました。

写真撮影の後、メインの宴会にはいりました。多人数のため、2階・3階に分かれての宴会となり、出石支部長の各階での乾杯で宴は始まりました。今年も若い会員の出席が多く、華やかな宴会となりました。懐かしい顔との再会や学年間を超えた懇談、新会員の自己紹介など、楽しい時間はあっという間に過ぎ、参加者全員での校歌斉唱(何故か専門学校のみ)で幕を閉じました。

ご参加いただきました先生方、会員の皆様、本当に有難うございました。次回も皆さん参加よろしくお願ひします。また出石支部長はじめ、スタッフの皆さんご苦労様でした。また来年も頑張りましょう。



京都医療科学大学学友会 平成21年度京都支部総会 平成22年2月20日 於 光悦

以上

\*通巻195号 2010年4月1日発行(H22 - No.1)より